

新型コロナウイルスワクチン接種の実施体制について

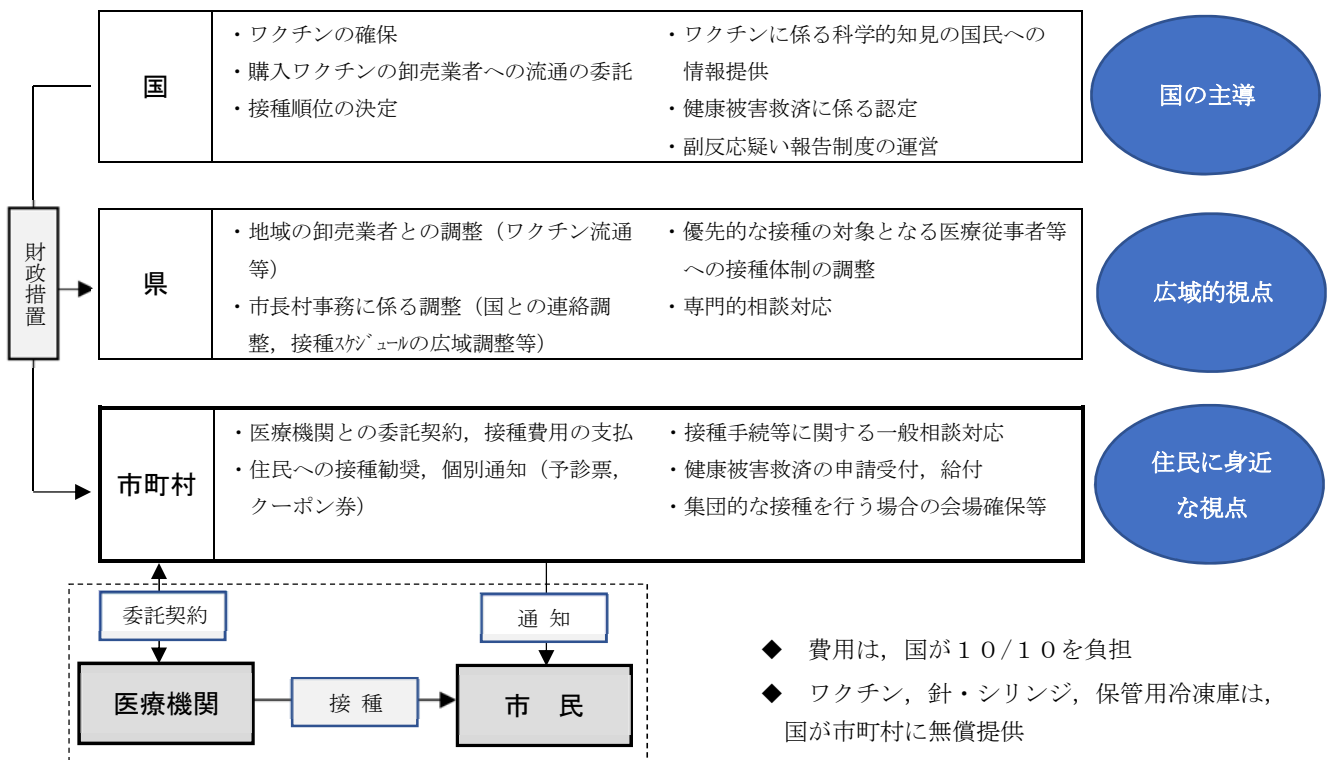
1 目的

予防接種法の改正に伴う「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種」について、市民に対し、迅速かつ適切に実施することができるよう、国の「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要項」等に基づき、本市における新型コロナウイルスワクチン接種体制を整備する。

2 本市の役割

国の指揮のもと、都道府県の協力により、市町村において予防接種を実施（別紙1参照）

※ 改正予防接種法（臨時接種に関する特例） 令和2年12月



3 本市におけるこれまでの取組状況

「新型コロナウイルス接種実施対策本部準備班」を令和2年12月24日に設置し、以下に取り組んでいる。

- ・ 集団接種会場の確保（市保健センターなど17か所）
- ・ 超低温冷凍庫の確保（30台以上）
- ・ 「新型コロナウイルスワクチン接種実施本部」体制の構築
- ・ 個別通知やコールセンター設置に向けた契約手続き等
- ・ 国・県及び医療関係団体との調整（医療従事者とのWGの開催等） など

4 課題

- ・ ワクチンの特性等を踏まえた接種場所の確保
 - ▶ 市民に対する定期予防接種は、従来、医療機関における個別接種で実施している。今回の予防接種では、3種類のワクチン供給が予定されているが、そのうちの1種類（ファイザー社）について、保管温度等、特に取り扱いが難しく、概ね10日で1、170回の接種が可能な場所で、短期間に多くの対象者に接種できる集団接種体制を確保する必要がある。
 - ▶ 接種会場の確保にあたっては、感染症の拡大防止や、駐車場の確保などの観点から、医療機関と調整を行うとともに、市有施設の活用を図る必要がある。
- ・ 迅速かつ適切な接種を行うための医療従事者等の確保
 - ▶ 1人当たり接種を2回行うことから、合計で約100万回の接種に対応する医療従事者（医師・看護師・薬剤師）等の確保に向け、医療関係団体等と調整を図る必要がある。

5 対応（案）

「（仮称）新型コロナウイルスワクチン接種実施本部」を設置し、庁内一丸となった執行体制を確保するとともに、市医師会を始めとする関係団体との連携を図りながら、迅速かつ適切なワクチン接種を推進する。（別紙2参照）

【業務内容】

- ・ ワクチン実施に向けた具体的な検討・準備
 - ▶ 感染症拡大防止の観点や、接種の安全性・効率性を踏まえた接種会場の確保
 - ▶ 医療従事者等の確保
 - ▶ 適正なワクチン管理 等
- ・ 個別通知（接種券等）
- ・ 周知・広報
- ・ 問い合わせ対応
- ・ ワクチン接種記録の管理 など

6 今後のスケジュール

- 令和3年1月29日
- ・「第1回新型コロナウイルスワクチン接種実施本部会議」の開催
- 2月～
- ・「宇都宮市新型インフルエンザ等対策地域連絡協議会」の開催
 - ・「第2回新型コロナウイルスワクチン接種実施本部会議」の開催
 - ・＜国による先行接種（コロナ対応医療機関従事者等の一部：約1万人）の開始＞
- 3月～
- ・本市による優先接種（コロナ対応医療機関従事者等）の開始
 - ・次の順でワクチン接種を開始
 - ▶ 高齢者向けワクチン接種の開始
 - ▶ 基礎疾患を有する者等向けワクチン接種の開始
 - ▶ 一般市民向けワクチン接種の開始

新型コロナウイルスワクチン接種の概要

1 ワクチン接種の対象者

全市民（現段階での予定） → 2回/人の接種が必要

【想定される接種順位】 ※ 国が決定する。

- ① 医療従事者等 (2月末以降)
- ② 高齢者 (3月末以降)
- ③ 基礎疾患を有する者・高齢者施設等への従事者 (4月以降)
- ④ ①～③以外の者 ()

※ 本市における想定接種件数（最大）

521,261人（本市人口）×2回（接種回数）＝1,042,522件

⇒ 市内医療機関における年間接種件数（定期接種：約18万件）の約6倍の件数

2 ワクチンの種類

	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田/モデルナ社
規模	1.44億回分	1.2億回分	5千万回分
最小流通単位	1,170回	100回接種分/20回接種分	100回接種分
保管温度	-75℃±15℃	2～8℃	-20℃±5℃
保存期間	・ディープフリーザー保管 最大2か月 ・ドライアイス容器保管 最大10日	冷蔵庫保管 最大6か月	冷凍庫保管 最大6か月

※ 開発状況により、どのワクチンが先に供給されるかは未定であるが、ファイザー社製のワクチンが最初に提供される可能性が高い。

3 ワクチン接種のスケジュール

新型コロナウイルスワクチンの接種体制の構築（スケジュールのイメージ）

○ ワクチンが承認された場合に速やかに接種が可能となるよう、ワクチン接種の優先順位を踏まえ、都道府県・市町村と連携して、接種体制を整える。

